

帯広畜産大学同窓会報

第26号 令和元年8月 帯広市稲田町西2線11番地 帯広畜産大学内 帯広畜産大学 同窓会事務局発行

会 長 挨拶

帯広畜産大学同窓会会長
砂川 敏文
(昭和45年草地)



会員の皆様には、それぞれの地域や職場で、お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

今冬の十勝は降雪量が例年より大幅に少なく、除雪は楽でしたが畑の凍結で秋播き小麦や春掘り長芋への影響が心配されました。幸いなことにこれらについては軽微な被害にとどまりましたが、少雨傾向が続き5月の春耕期には一部で裸の畑の土が舞い上がり交通に支障が出ました。冷害、蝗害と共に十勝農業を悩ませた風害ですが、秋播き小麦の作付け割合が増えたことなどから以前よりは少なくなっています。その後少雨傾向は解消に向かい各作物の生育も順調になってきました。

お招きをいただき全国各地の支部に総会などの際にお伺いしています。全国各地から畜大を目指して入学し有意義な学生時代を過ごし、畜大への愛情とそれぞれ地元への思いを持って各地で活躍している会員の皆様のお姿を拝見し、お話を聞くのは嬉しいことです。支部の活動については各支部の裁量にゆだねられていますので、各支部様々な活動状況ですが、今後とも創意を凝らしながら本会の目的（会員相互の連絡と親睦並びに帯広畜産大学の発展に寄与すること）に沿った活動が展開されますよう期待しています。

大学の運営に関する目下の重要事項に三大学の経営統合と畜大基金の充実があります。前者については統合体の本部を帯広におくことは合意しているとのことですが、各大学の同窓会関係者も参加して広範にわたる実務協議が進められていると聞いています。私どもとしても大きな関心を持って見守っているところです。後者については同窓会としても会員の皆様にご協力をお願いしてきており、格段のご支援をいただいておりますが、今後とも心ある会員の輪を広げていただくよう

お願いいたします。

第3回目のホームカミングデーが、10月12日大学祭に合わせて開催されます。大学行事として定着し、今後毎年この時期に催される予定です。お誘いあわせの上懐かしいキャンパスを訪問する機会にいただければと思います。

会員の皆様のご健康とさらなるご活躍をお祈りしますとともに、同窓会に対して一層のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

大学の近況

帯広畜産大学長
奥田 潔
(昭和52年獣医)



三大学経営統合と図書館の改修

昨年5月、本学は、小樽商科大学、北見工業大学と2022年4月に経営統合すると発表しました。そして、北海道経済・産業の発展に真に貢献しうる教育・研究体制を構築するため、国や自治体、経済団体、金融機関、研究機関、そして各大学の同窓会などの有識者を外部委員とした会議を設置し、委員の方々の意見やアドバイスを参考に新法人の経営体制等の検討を現在進めているところです。また、「商学」「農学」「工学」の3分野が有機的に連携し、各大学の教育研究機能を充実させるため、①文理融合・異分野融合の連携教育プログラム開発、②遠隔教育実施に向けた先端システム開発、③産学官連携の「オープンイノベーション・センター」の設置、の3つの取り組みを検討しています。これらを構築することにより、三大学経営統合ならではのシナジー効果を生み、より社会に求められる人材育成が可能になると考えています。地域、そして国際社会に貢献していく所存です。今後も同窓生の皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

もう1つ近況として、念願の附属図書館の改修工事が完了したことをご報告申し上げます。附属図書館は

多くの学生が利用しており、特に試験期間には多くの学生が夜中まで勉学に励んでいます。改修により、これまでなかった空調設備も整備するなど、修学環境が大きく改善されました。これらの改修は、国からの施設整備費のみでは行うことができず、同窓生の皆様をはじめ、多くの方々から寄附された大学基金を活用することにより実現することができました。お陰様で、大学基金への寄附額は、年々増えております。同窓生の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げますとともに、今後も引き続き大学基金へのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に、毎年秋に多くの同窓生の皆様から全国各地からご参加いただいておりますホームカミングデーを今年も10月12日(土)に開催いたします。今年も講演会や学内見学ツアー、そして大コンパなどの企画を用意しております。また、ホームカミングデーの参加に合わせて同期会が開催されるなど、きっかけ作りとしてもご好評いただいております。多くの同窓生の皆様のご参加をお待ちしています。

年の貢献に対して日本実験動物学会功労賞を受賞されたことも喜ばしいニュースです。



総会后、「カビから見える・知る世界」と題して高鳥浩介 NPO 法人カビ相談センター理事長 (45V) の特別講演があり、「カビとは何か」から「高松塚古墳壁画やエジプトピラミッド等古代遺跡のカビ」さらには「宇宙にカビ？」まで大変幅広い話題を解り易く話してもらいました。

引き続いての懇親会では、まず奥田学長から道内三国立大学の運営統合の進捗状況など大学の現況を報告して頂きました。配布して頂いた新聞記事に掲載されたこの1年間の数々の取り組みや教員・学生の活躍には大変感激しました。続いて砂川同窓会会長からは今年も開催される「ちくだいホームカミングデー」へのお誘い、「女子学生の増加」などの話の後、乾杯のご発声で宴開始となりました。今年は経費節減のために恒例のプロ歌手によるコーラスを中止しました。残念

支 部 だ よ り

関東同窓会の近況

関東支部長

澤 田 拓 士

(昭和45年獣医)

年号が平成から令和と改まりました。令和が良い時代であれと願うとともに、人々が自ら少しでも社会を良くしようとする契機になればと思います。

令和が始まったばかりの6月8日(土)午後5時から銀座ライオン7丁目店において2019年度関東同窓会総会が開催されました。会員70名が出席し、母校から奥田潔学長 (52V) 並びに野並雅章学長補佐、同窓会本部から砂川敏文会長 (45G) 並びに辻修副会長 (53T) の4名の来賓のご臨席を賜りました。

総会は細川幹事長 (48V) の司会の下、初めに物故者へ黙祷を捧げ、会長挨拶の後、加藤副会長 (42D) の議事進行で各議案が原案通り承認されました。総会冒頭、母校の基金へ多大な寄付をされた村上豊さん (49T) に対し奥田学長から感謝状が授与されました。村上さんに敬意を表します。また、今年5月に伊藤喜久治さん (46V) が腸内細菌や無菌動物に関する研究など永



の声も聞かれましたが、その分出席者間の交流をより長く楽しんで頂けたかと思えます。それでも時間は足りませんでした。正木宏幸さん(46V)の音頭と細川幹事長のハーモニカ伴奏で逍遙歌を全員で力強く唄い続けることができました。最後に榑崎顧問(33V)に“閉会のことば”として本総会・懇親会をしっかりと纏めて頂きました。

次回は2020(令和2)年6月20日(土)銀座ライオン7丁目店で開催の予定です。特別講演は元明治大学農学部教授の竹迫紘さん(42D)に土壌の話をして頂くことになっています。

この春から始まったNHKの連続テレビ小説“なつぞら”は我々同窓に十勝で過ごした幾年を思い出させてくれます。母校の製作協力も喜ばしいことです。ドラマの舞台は東京に移りましたが、主人公“なつ”と私共の故郷“十勝”が映るのを楽しみに観続けたいと思います。

滋賀県支部活動報告

滋賀県支部長

中塚靖彦
(昭和53年工学)

帯広畜産大学同窓生の皆様こんにちは。NHKの朝ドラ『なつぞら』の冒頭画面に、協力『帯広市のみなさん』『帯広畜産大学』と出てくると「嬉し、懐かし」となるのは仕方ないことですね。

さて、帯広から遠く離れて琵琶湖を県のど真ん中に抱える滋賀県から近況報告です。私ども滋賀県支部では昨年11月21日に須藤会長以下総勢14名で同窓会を開催いたしました。会場は『北海道ダイニング南草津店』。名前のおり北海道産地直送の海の幸・山の幸、ジンギスカン、北海道の銘酒……。帯広では定番のもの



松川(S51-C)安永(H1-A)大塚(S58-A)柴山(S61-V)
北島(H2-A)上田(H4-V)中塚(S53-T)山中(S48-V)石田(H4-V)深川(S52-D)
森(S45-V)浜野(S44-V)須藤会長(S33-V)生駒(S45-V)

ばかりでしたが、滋賀ではほかの産地のものとはひと味もふた味も秀逸な一品ばかりでした。

出席メンバーは、昭和の卒業生が43年から61年までで10名、平成元年から平成4年までで4名でした。最後は逍遙歌と記念写真でお開きとなりましたが、いつもながら和気あいあいの支部会でした。

滋賀県支部の方で掌握している同窓生は40名、そのうち20名が昭和卒(20年~61年)、20名が平成卒(元年~22年)となっています。他にも滋賀県にゆかりのあるOBがたくさんおられると思いますが、探しきれれておりませんので、是非次回の支部会に出席いただきたいのでご連絡ください。ご本人様、ご友人など滋賀県在住、在勤(元でも可)、近隣府県からでもご一報くだされば幸いです。

今年から年号は『令和』となりましたが、どんな「令和卒業生」が参加してくれるか今から楽しみです。

同窓会大阪支部より

大阪支部事務局長

藤崎泰造
(平成元年環境)

大阪支部では、2つの年中行事を恒例としています。
①6月前半：同窓会BBQ大会(服部緑地公園 豊中市)
②11月後半：忘年会兼総会(双龍虚 大阪市天満)

6月8日(土)に開催された野外バーベキューは、もちろん畜大時代のジンギスカンに思いをはせるイベントです。当時の味付きジンギスカンとは比較にならない上等な山海の御馳走を次から次へこれでもかと。ホワイトリーカーならぬ生ビールを40ℓ!すっかりなじみになった横山ならぬ吉田酒店のお兄ちゃんに運んでもらいます。

今年一番の活躍は、柴田響子(H18畜産化学科)さん。場所取りのために早朝6時から出勤し、みごと一番乗り。緑豊かな服部緑地公園の丘の上にブルーシートを敷き、同窓会旗を立ててくれました。アウトドアブームで当日バーベキュー人口は凄まじいものでしたが、柴田さんのルアーアングラーズ仕込みの早起きのおかげで、ヒルトップを確保し下々に逍遙歌を歌い聞かせることができたのでした。さらに柴田さん、お仕事繋がりの東條雅彦(S56獣医)さん(初参加)を誘導。ほんとに今回の柴田は偉かった!

さあ、次は忘年会兼総会です。帯広ほどではないですが、さすがに外は寒い。大阪市天満の中華の名店双龍虚にて、紹興酒で中華料理三昧。これはもちろん春華楼をオマージュなわけです。一応総会ということになってますけれど、もちろん初参加の方大歓迎です!20代から90代まで非常に幅広い世代の方が参加される

予定です。直接的な知り合いがいなくても、必ずつながりが発見できるでしょう。同窓会へ是非ご参加ください。

開催日時等のお問い合わせは、藤崎泰造 (H1環境) taizou.fujisaki@outlook.jp までお気軽にお問い合わせください。



岡山県支部

岡山県支部長

進 藤 省 一 郎

(昭和36年酪農)

全国で一番だらしない支部である自覚はある。鈴木直義学長(ラグビー部先輩)に支部を作れと言われて、作りましたが。目を光らせていた学長が天に昇り腑抜になりました。

天で怒って居る事でしょう。奥田潔学長は岡山支部出身であり恥ずかしく感じていると思います。本年は秋に支部会を開催したく思っていますが日時未定です。

私こと昨年2月ヒマラヤで失敗(高山病もどき低体温症)、時々意識を失うことに成り、帰国後は寝てばかりであった。若い医者は血液数値だけで患者を診ます、rGTP 465、CRP 7+、血糖 540。全機能不全だ、何で生きてるんだと言う。人間の身体の不思議を知らぬ医師だと思う。寒さで死ぬときは血糖値が上がる。身体が凍りたく無い為に勝手に糖をふき出すんだ。薬に頼らず寝てただけで回復した。先月のGOLF大会で3位に成ったが100切れなかったんだ。「なつぞら」で畜大何を協力したんだ。下の方に名が出た。

その内に、ちくだいホームカミングデーに参加したいと思っている。女性が50%以上と耳にする。私の時代は学年に3人で他の学科の者が見学に来たもんだ。女学校の様だと言った奴が居る。ラグビー部大変だなあー、どうでもいいけど一同元気であります。

卒業生

世田谷から近況報告

東京農業大学地域環境科学部生産環境工学科 助教

山 崎 由 理

(平成24年畜産科学課程環境農学ユニット)

東京は梅雨の曇り続きで、十勝の高い青空が恋しい毎日です。

私は、平成20年に帯広畜産大学畜産科学課程に入学し、大学院修士課程、岩手大学大学院連合農学研究科博士課程と、9年間にわたって帯広畜産大学でお世話になりました。ひとよりもずいぶん長い学生生活でしたが、昨年からようやく、東京の大根で有名な大学に移りまして教員として勤めております。いまだに、学内の生協やコンビニにお勤めの奥様方からは学生だと思われるようですが、黒板の前で水理学や力学などの必修科目と戦っていたりもします。

東京に来て戸惑ったのは学生数の多さです。私が専門とする農業土木の学科学生は1学年130~150名、全学では1学年2000名にもなります。お昼時の生協なんかは洪水のようです。そのため、必修の授業は200名を超える場合もあり、熱気で窓が結露している日もあるほどでした。なにより、学生ひとりひとりを見て授業することが難しいのです。

また、現在所属している研究室が水利施設を専門としているため、農業用水路やダムの水理学・設計・ストックマネジメントについて教える機会があります。しかし、東京の学生さんたちは水路を見たことがないようで、そもそもイメージがないようなのです。



Youtube や写真を使って普段は説明をするのですが、やはり現地に行って実際に見るとは感じ方や考え方が異なるようです。それは、悲しいかな農業についても同じで、農業に関わる環境問題について勉強したいという意気込みのある学生さんが多いのですが、日常的に田んぼや畑を見ることがないせいか、現実的ではない、家庭菜園のような規模で考えているなど感じる事が多くあります。

その点、帯広畜産大学では大学の中だけではなく、十勝の畑や、農家さんや、自然から学ぶことが多くあります。それらは、私にとって忘れられない経験ですし、農業の最先端を毎日目の前で見ていたんだと改めて感動することもあります。畜大で学んだ学生さんたちは、おそらく「あの畑」を目指して農業を考えるはずで、「農業は産業である」という当たり前のことをたたきつけられるあの光景は財産だと思います。

私の方は、毎年必ず学生を北海道に連れて行って農業を体感させること、あわよくば働き手として送り込むことをひそかな目標としております。

故 太田 助 元同窓会長 を偲んで

士幌会支部長

今 田 忠 夫
(昭和48年別科)



帯広畜産大学同窓会の仲間の事をいつも気かけられた太田助先輩。同窓会長にあった時に、同窓生の拠りどころの実現に思いを深くし会館の設立を呼び掛けられ、まさにゼロから立ち上げられ、皆様から寄せら

れた名前を冠した同窓会館“逍遙舎”を校内に建設することができました。

その太田先輩が去る2月9日、持ち前の気丈な精神力で病と闘っていましたが残念ながら不帰の人となりました。86歳、肝臓がんの転移を止めることが叶いませんでした。

いつも同窓会の話聞いて力になってくださり、元氣になったらミャンマー（支部の仲間に会い）に行こうとおっしゃっていました。

しかし実現することなく残念でなりません。

当時、太田 助さんは総合農学課を卒業後、田島重雄教授の研究室に残りミネソタ大に行き勉強をする事が目前にせまり準備を進めていたところでしたが、士幌農協から田島教授のもとへ太田助を士幌農協に来てほしいとの話が再三あり、田島教授より3年間行ってくれないかミネソタ大へはその後ではとの説得に応じ士幌に来ることになりました。

約束の3年が過ぎたとき、太田助さんは当時日本の農家のほとんどがそうであった様に、営農や経済が未成熟な農家の現状を思い士幌農協に残ることを決断されました。太田さんの歴史は士幌農協の歴史と言ってもいい人生が、スタートすることになったと思います。

組合員の所得向上、東洋一と言われたでんぶん工場のフル稼働には良質種芋の生産体制 貯蔵技術の確立、農家後継者の教育の町立農業高校の設立、ブラジルの農協との交流、ポテト加工プラントの立ち上げ等々…、農村の工業化、農村ユートピアを目指したリーダーのもとで士幌農協、農業の懐刀として日夜ご尽力を続けてくださいました。

“組合員の分身”を自認され若いころはバイクで町内の圃場を見て回り組合員一人一人に営農指導に心を砕かれていたとお聞きしています。

これは同窓会にあっても同じで、体調のすぐれなくなってからもいつもスーツ姿で士幌会の例会に必ず来



帯広畜産大学にて

てください、一人一人と話をされていました。

上下左右という言葉で同窓生の交流の大切さを説いておられました。

私が学生時代、太田さんが講師として来てお話を聞かせて頂くことがありましたが、その中で“みなさんは方法論を学べ”とお話して下さったのを思い出します。

土幌農協の専務を最後に退職後も農協人、組合員の分身としての気持ちを持ち続け“今、第2の鬱蒼とした森が地域に広がっている”と常々お話をされていました。柏の木を一本ずつ切り倒し鋤で農地を広げていった果敢な先人のように、新しい時代に向かっていかなくてはいかんとおっしゃっているように思えてなりません。

太田さんはいつも前方を見つめておられました。

時折話してくれることがあった、若き日の渡米の夢が叶わなかった思いが、生涯太田さんの胸の内にあっただように思います。

しかし、人生にあってはそれ以上の夢に果敢に挑戦

され充実した人生を全うされたと思います。

太田先輩には“永遠の未完成これ完成なり”宮沢賢治の言葉を送ります。

深い感謝と共に私の知る一端を寄稿させて頂きました。

帯広畜産大学、畜産大学同窓会のさらなる発展を祈念いたします。



太田氏(左)と筆者(逍遙舎にて)

Topics

五十嵐郁男名誉教授が日本農学賞を受賞

五十嵐郁男名誉教授が日本農学賞を受賞し、4月5日(金)の授与式に出席しました。

日本農学賞は、日本農学会が昭和17年より日本の農学研究者間における最高の榮譽として授与しているもので、五十嵐名誉教授は、「家畜の原虫病に対する診断、治療、予防法の開発に関する研究」で受賞しました。日本農学賞を受賞すると、読売農学賞も授与されます。

五十嵐名誉教授はバベシアとタイレリアを対象とするピロプラズマの研究を行ってきました。ピロプラズマ病は、世界的に家畜生産に甚大な被害を与えており、先生はその監視と制御に多大な貢献をしました。

開発した診断法は、国の動物検疫に採用され、2020年の東京オリンピックの馬の検疫に使用される予定です。



受賞した五十嵐名誉教授(前列左)



講演の様子

宮本 啓二名誉教授・小柳 敏郎名誉教授が 瑞宝中綬章を受章されました

令和元年春の叙勲において、宮本啓二名誉教授及び小柳敏郎名誉教授が瑞宝中綬章を受章されました。

宮本名誉教授は永年にわたって、農業機械学の教育、研究を通して多数の人材を育て、社会に送り出すとともに、北海道の畑作農業や酪農における技術的諸問題を積極的に研究テーマとして取り上げられ、その研究成果は地域農業の発展に大きく寄与されました。また、省庁地方局や地方自治体をはじめ、各種団体が設置する数多くの審議会、委員会の委員や会長として活動し、地域の発展に尽力されました。さらに、国際協力事業団の事業を通して、発展途上国支援に携わり、国際貢献に努められました。

小柳名誉教授は永年にわたって、本学の教養課程における物理学関係の教育と地球物理学を基礎とした地震と地盤などに関する研究に努められました。また、学内における各種委員や情報処理センター長を歴任し、学内におけるコンピュータの運用や改善に尽力されてきました。センター長として、道内の大学間の各種情報交換の機会となった道内国立大学情報処理センターの連絡会議を創設されました。地域社会に対しても研究・教育分野を通じて多大な貢献をされました。

栄えある叙勲を受けられましたことをお祝い申し上げます。



宮本先生



小柳先生

佐藤 禎稔教授が日本農業工学会 フェローの称号を授与されました

5月14日(火)に東京大学弥生キャンパス中島董一郎記念ホールで開催された日本農業工学会の受賞式で、佐藤禎稔教授(環境農学研究部門)が農業工学会フェローの称号を授与されました。

日本農業工学会は10の学協会からなる連合組織で、フェローの称号は学問の発展に顕著な功績を継続して果たした研究者を表彰して世に広く伝えるものです。

佐藤教授は、農業をリードする北海道の大規模農業を背景として、畑作酪農における先進的な農作業システムに関する研究を行っています。

現在、大規模農業地帯でも労働力不足は深刻な問題になっており、その解決の為に佐藤教授は、畑輪作での耕うんから播種・移植、管理・防除、収穫に至る各種作業においてロボットトラクタの普及実証に関する研究を実施しています。

また、食の安全安心確保や自動化を実現するために大型ブームスプレーヤの精密防除に関する開発研究、ポテトハーベスタの収穫作業の効率化に関する研究なども行っています。

このたびの称号授与は、これらの功績が認められたものです。



称号を授与される佐藤教授

平田昌弘教授が日本沙漠学会学術論文賞を受賞

平田昌弘教授（人間科学研究部門）が平成30年度日本沙漠学会学術論文賞を受賞しました。

日本沙漠学会学術論文賞は、学会誌「沙漠研究」に掲載された論文により乾燥・半乾燥地に関する学術上の顕著な業績を挙げた会員に授与されるものです。

このたびの受賞は、平田教授の論文「エチオピア高原の牧畜民及び農牧複合民の食糧摂取、家畜頭数の事例調査と考察」が、エチオピアにおける実施調査データに基づき、対象地域の社会、生活及び経済変化を示したものとして高く評価されたものです。また、今後の砂漠研究に関する啓蒙普及の面からも高く評価されました。



受賞した平田教授



総会のご案内

2019年度の帯広畜産大学同窓会総会を下記の要領で開催いたします。会員各位のご出席をお願い申し上げます。

日 時：2019年10月12日（土） 午前10時より
場 所：帯広畜産大学 総合研究棟 I 号館 E2503会議室
（正門から入り正面の建物です。）

玄関から入り正面階段を上がり2階右側です。）

今年はホームカミングデーが開催されるため場所が会議室となっておりますのでご注意ください。また、例年開催しております懇親会は、ホームカミングデーでの開催となります。

総合農学科 昭和40年卒クラス会よりお知らせ

これまで同窓生でクラス会を開催してまいりましたが、今年を持ちまして会を解散することにしました。長きにわたりご協力ありがとうございました。解散にあたり会の残金は帯広畜産大学同窓会へ寄附することにしたので関係の皆様にお知らせします。

帯広畜産大学同窓会事務局より

この度、湯藤様よりクラス会を解散することにより発生しました、金45,000円を寄附していただきました。お礼申し上げます。同窓会発展のために使わせていただきます。

今後の同窓生の皆様のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

同窓十勝会例会のご案内

同窓十勝会では、以下のとおり例会を開催します。多くの方々のご参加をお待ちしております。

日 時：2019年10月12日(土) 午前9時から
場 所：帯広畜産大学 総合研究棟 I 号館 E2501会議室
(正門から入り正面の建物です。
玄関から入り正面階段を上がり2階左側です。)

問い合わせ：小池 寿 (0155-24-2133)

ちくだいホームカミングデー2019

帯広畜産大学では、卒業生、修了生及び教職員 OB・OG の皆様に、再び本学に足をお運びいただき、同窓生や在学生、教職員との交流を深めていただくために、「ちくだいホームカミングデー2019」を、下記のとおり開催いたします。

今年も学生によるステージや多くの出店がある「畜大祭」と、馬に関する多彩な企画を用意する「馬フォーラム」を同時開催いたします。

日 時：2019年10月12日(土)
場 所：帯広畜産大学講堂ほか(帯広市稲田町西2線11番地)

詳しくは帯広畜産大学のホームページ (<https://www.obihiro.ac.jp/hcd>) をご覧ください。

協賛広告のご案内

来期の同窓会報より協賛広告を掲載いたします。来期は2020年11月頃に発行する予定です。自分の会社をお持ちの方！会社のトップの方！その他の方！協賛広告受付は2020年9月30日(水)が締切日です。多数の申込を、お待ちしております。

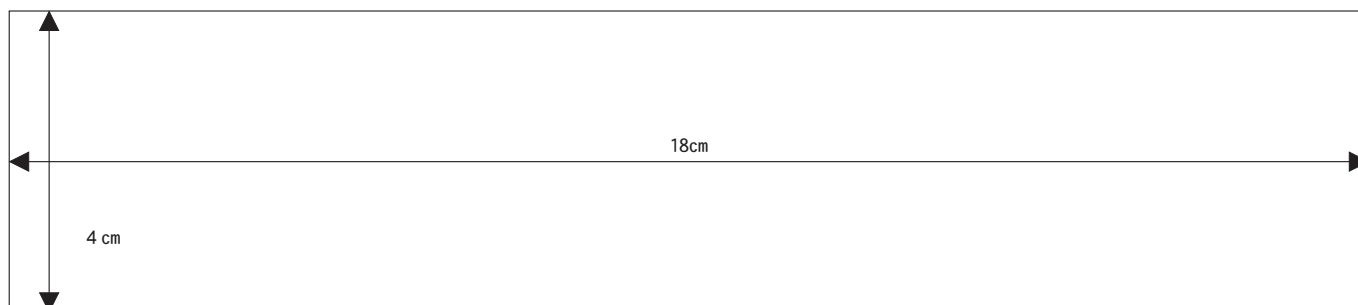
大きさと掲載料は下記の通りです。

1 枠：タテ40mm × ヨコ180mm
10万円(本校卒業生は5万円)

1 / 2 枠：タテ40mm × ヨコ85mm
6万円(本校卒業生は3万円)

なお原則として、申込み1件につき、会報10部を贈呈致しております。広告料金のお支払いは、名簿と共に郵便振替用紙を送付させていただきますので、後日振り込みをお願い致します。

申込先：080-8555 帯広市稲田町 帯広畜産大学
岸本 正
電 話：0155-49-5522 FAX：0155-49-5522
E-mail：tksm@obihiro.ac.jp



訃 報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。[敬称略]

| | | |
|---------------------|---------------------|-----------------------|
| 井上 壽 (S18年 獣医畜産) | 朝日 淳浩 (S26年 農専農芸化学) | 土田 能裕 (S38年 酪農) |
| 猪田 昭三 (S19年 農専獣医) | 鈴木 宏之 (S26年 農専農芸化学) | 佐藤 宣子 (S39年 酪農) |
| 斎藤 兵四郎 (S19年 獣医畜産) | 菊地 紳一 (S28年 獣医) | 鍋谷 康次郎 (S41年 獣医) |
| 塩入 恒雄 (S19年 獣医) | 塚本 昭一 (S28年 酪農) | 大滝 忠雄 (S42年 農産化学) |
| 中村 榮二 (S19年 獣医畜産) | 西出 光栄 (S28年 酪農) | 塩野 豊 (S44年 農業工学) |
| 加藤 晃男 (S20年 獣医畜産) | 田中 隆三 (S29年 酪農) | 長谷川 公平 (S45年 農産化学) |
| 佐藤 一良 (S22年 農専獣医) | 池田 春男 (S30年 酪農) | 中川 勇治 (S46年 農業工学) |
| 盤若 与志雄 (S22年 農専獣医) | 渡辺 裕 (S30年 獣医) | 槇島 貞雄 (S47年 酪農) |
| 松井 襄 (S22年 農専獣医) | 南 毅正 (S31年 獣医) | 田村 望 (S48年 農業工学) |
| 藪 光成 (S22年 農専獣医) | 太田 助 (S32年 総農) | 平井 康裕 (S48年 酪農) |
| 猪田 昭三 (S23年 農専獣医) | 大廣 頼雄 (S32年 獣医) | 奥野 展雄 (S50年 農業工学) |
| 伊代 尚 (S23年 農専農芸化学) | 田岡 李江子 (S32年 酪農) | 葛西 暢陽 (S50年 草地畜産専修) |
| 神田 泰男 (S23年 農専農芸化学) | 橋本 勇 (S32年 総農) | 土田 喜一 (S50年 草地) |
| 土屋 成昭 (S23年 農専獣医) | 高橋 克郎 (S33年 総農) | 中田 滋 (S51年 獣医) |
| 中野渡 亀夫 (S23年 獣医) | 小野寺 まゆみ (S34年 総農) | 高本 豊壽 (S52年 畜産経営) |
| 松澤 文雄 (S23年 農専農芸化学) | 道斎 徹 (S34年 酪農) | 富樫 儀禮 (S54年 畜産経営) |
| 赤城 仰哉 (S24年 農専農芸化学) | 萬屋 和光 (S34年 獣医) | 鈴木 清人 (S59年 草地畜産専修) |
| 今中 博臣 (S24年 農専酪農) | 滝嶋 伸締 (S35年 獣医) | 牧 与志幸 (S60年 家畜生産) |
| 高野 信雄 (S24年 農専酪農) | 田中 明 (S35年 獣医) | 安孫子 理 (H9年 畜産管理) |
| 野坂 計輔 (S24年 農専酪農) | 寺田 勝年 (S36年 総農) | 鈴木 高志 (H10年 畜産環境) |
| 松浦 豊 (S24年 農専酪農) | 野口 豊 (S36年 酪農) | 金谷 一夫 (会則第5条第4項による会員) |
| 小椋 保 (S25年 農専農学) | 羽田 喜久男 (S36年 酪農) | 酒井 隆太郎 (旧教員) |
| 篠原 一明 (S25年 農専獣医) | 森田 昌雄 (S36年 酪農) | |
| 田中 清一 (S25年 農専農学) | 斉藤 資司 (S37年 獣医) | |
| 箭原 信男 (S25年 農専農芸化学) | 譚 健栄 (S37年 総農) | |
| 赤城 望也 (S26年 農専農学) | 上山 莊二 (S38年 獣医) | |

*2018年7月から2019年7月までに、本部事務局にご連絡をいただきました。

事務局だより

逍遙舎の使用について

「逍遙舎」は、同窓会員、職員、学生が相互の懇親などの交流の場として使用できます。利用を希望される方は、大学総務課にお申し込みください。

問い合わせ先 総務課総務係 49-5216
(平日 8:30-17:15)

HP <http://www.obihiro.ac.jp/alumnus/syouyousya.html>

同窓会事務について

同窓会事務局は、事務職員の配置を取りやめ、その作業を帯広畜産大学生協に委託しております。なお、電話、FAX等は、これまでと同様ですので、お問合せは下記にお願いします。

同窓会事務局 (平日8:30-18:00)
〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地
帯広畜産大学内
Tel 0155-49-5996 FAX 0155-49-5996
E-mail dousou@obihiro.ac.jp
HP <http://www.obihiro.ac.jp/~dousou/>

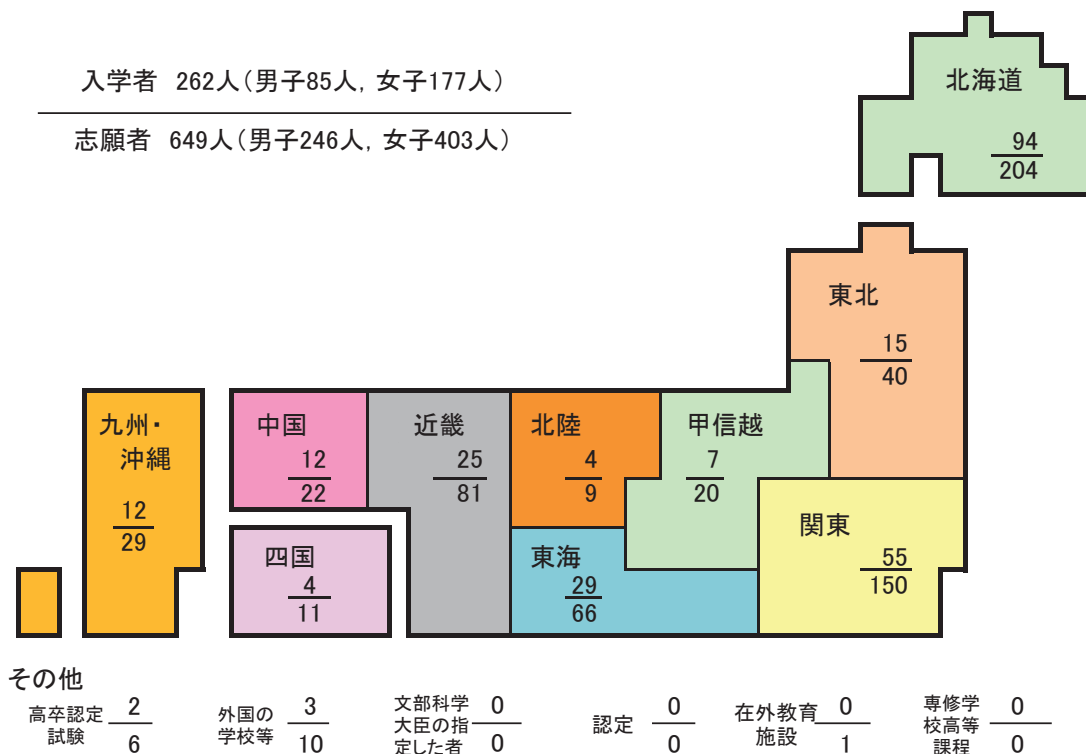
本学同窓会の終身会費の徴収方法について

現役学生の保護者の皆様へ

これまで帯広畜産大学同窓会では、会費の徴収方法として、入学時に入学者の皆様から同窓会への協賛金としていただき、卒業の時点で同窓会会員となった時にその会費を終身会費に変更させていただいております。しかし、その煩雑性と他の大学の状況を見たとき、現役学生も入学した時点において準会員の資格を与え、その結果として、入学時に終身会費をいただくことといたしました。なお、特別な事情で、途中で大学を去る場合においては、本人からの申し出において、終身会費を返納することは、従来と変わっておりません。また、終身会費を納めていただき、入学時に同窓会に住所開示の許可をいただいた保護者の皆様には、同窓会報の発送も行い、本学同窓会の活動をご覧になっていただくことにいたしました。このような事情で、現役学生の保護者様にも同窓会会報を発送いたしましたので、お気づきの点がありましたら、事務局までご一報ください。

また、本学の卒業生は、全国に散らばっており、現役の学生諸子の就職時にも、色々な分野の諸先輩の方々のお力も拝借できる体制となっております。その旨、ご子弟にお知らせいただき、同窓会事務局の先生方に連絡いただければ、全国の各支部に問合せを行うことも可能ですので、そのような観点からも同窓会を活用していただければ幸いです。

◆ 平成31年度学部地域別志願者・入学者状況



帯広畜産大学同窓会会則

昭和36年7月7日制定
平成5年10月16日改訂
平成7年10月14日改訂
平成9年10月18日改訂
平成11年10月23日改訂
平成13年10月6日改訂
平成19年10月13日改訂
平成25年10月5日改訂

第1章 総 則

- 第1条 本会は帯広畜産大学同窓会と称する。
第2条 本会は会員相互の連絡と親睦、並びに帯広畜産大学の発展に寄与することを目的とする。
第3条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。
1. 同窓会報の発行
2. 同窓会名簿の管理
3. 帯広畜産大学の後援
4. その他本会の目的を達成するための必要な事業
第4条 本会の事務局は帯広畜産大学内に置く。

第2章 会 員

- 第5条 本会は次の会員を持って組織する。
1. 正会員
1) 帯広畜産大学及びその前身の卒業生
2) 帯広畜産大学畜産学専攻科、大学院畜産学研究科、及び別科修了生
3) 岐阜大学大学院連合獣医学研究科及び岩手大学大学院連合農学研究科の修了生で本学の講座に所属したもの
4) その他代議員会で認めたもの
2. 準会員
帯広畜産大学、大学院畜産学研究科、草地専修科、岐阜大学大学院連合獣医学研究科および岩手大学大学院連合農学研究科の学生
3. 特別会員
帯広畜産大学およびその前身の同窓生以外の教員
第6条 会員は住所、その他の異動があった場合は、その都度本会に速やかに通知しなければならない。
第7条 会員の除名および資格の喪失
1. 本会の名誉を傷つけたり、本会の目的に反した行為を行った会員は、代議員会の決議により、除名とする。
2. 当該会員が死亡したときは、その資格を喪失する。

第3章 役 員

- 第8条 本会は帯広畜産大学長を名誉会長に推薦する。
第9条 本会は次の役員を置く。会長1名、副会長若干名、事務局長1名、庶務担当3名、会計担当3名、名簿担当3名および監事2名。ただし、会長が必要と認めた場合は役員を追加することができる。役員会は前記の役員で構成し、本会の日常的な運営にあたる。本会は役員会の推薦により顧問を置くことができる。
第10条 会長及び副会長は代議員会において会員中より選出し、総会の承認を受けるものとする。その他の役員は役員会において会員中より選出し、代議員会の承認を受けるものとする。役員および代議員の任期は一期二年とし、再選を妨げないが、会長の任期は二期を越えないこととする。
第11条 会長は本会を代表し、会務を統理する。副会長は会長を

補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。

- 第12条 事務局長は庶務担当役員と共に会務を担当する。
第13条 会計担当役員は会費を徴収し、本会の資産の管理と予算の適切な執行を担当する。
第14条 名簿担当役員は同窓会名簿の管理を担当する。本役員は名簿の編集の円滑化を計るため、名簿編集委員を委嘱することができる。
第15条 監事は本会業務の執行及び会計の状況を監査する。
第16条 役員会は会長が召集しその議長となる。本会は構成役員の過半数の出席で成立し、会の議事は出席者の過半数をもってこれを決する。
第17条 役員会は支部等から若干名の代議員を委嘱し、重要な会務を審議するために役員と代議員とで構成する代議員会を置く。
第18条 代議員会は会長が召集しその議長となる。代議員の3分の2以上の署名により会議の目的事項を示して請求があったときは、会長は代議員会を招集しなければならない。代議員会は構成員の過半数（委任状を含む）で成立し、議事は過半数をもってこれを決する。可否同数の場合は議長の決するところによる。
第19条 代議員会は次の事項を審議する。
1. 予算及び決算
2. 会費の変更
3. 重要な資産の処分
4. その他の重要な事項

第4章 総 会

- 第20条 総会は通常総会と臨時総会とする。通常総会は原則として隔年で開催するものとする。臨時総会は代議員会において必要と認めるとき、または10分の1以上の会員の署名により会議の目的事項を示して請求があったときこれを開くこととする。
第21条 総会は会長が召集し、その議長は会員中より総会で選出する。
第22条 次の事項は通常総会においてその承認を受けるものとする。
1. 会則の変更
2. 役員人事
3. 資産目録
第23条 総会の議事は出席会員の過半数をもってこれを決する。可否同数の場合は議長の決するところによる。
第24条 本会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入をもってこれに充当する。

第5章 資産及び会計

- 第25条 本会の重要な資産を処分するには、代議員会の決議を経て、総会の承認を得なければならない。
第26条 会員は終身会費として入学時に20,000円を納めなければならない。但し、特別会員は会費を免除する。なお、準会員については、何らかの事情で中途退学した場合、本人からの請求があれば返金するものとする。
第27条 本会の会計年度は毎年10月1日に始まり、翌年9月30日に終わる。

第6章 支 部

- 第28条 本会はその目的を達成するために、必要があるときは支部を設けることができる。
第29条 支部を設置しようとする者は、その代表者から支部会則、役員等の資料を添えて本会に届け出なければならない。なお、支部活動については、支部会にゆだねるものとする。

付 則 この会則は平成25年10月5日から施行する。